

## JENESYS2025 ASEAN 同窓生のオンライン訪日プログラムの記録 (テーマ：日本語・伝統とポップカルチャー)

### 1. プログラム概要

#### 【目的・概要】

本プログラムは、JENESYS 事業で訪日経験のある ASEAN 地域の同窓生を対象に、「日本語・伝統とポップカルチャー」をテーマとして、2025年11月25日から11月29日の日程で実施しました。プログラムを通じて、専門的な知識を得て、日本への関心・支持を拡大し、関係分野の日本人とのネットワークを形成することを主目的としました。

【参加者】ASEAN 諸国の JENESYS 同窓生（2024 年度までの参加者） 合計 39 名

（内訳）インドネシア 2 名、カンボジア 3 名、シンガポール 2 名、タイ 1 名、フィリピン 17 名、ブルネイ 1 名、ベトナム 1 名、マレーシア 9 名、東ティモール 3 名

【訪問地】東京都 38 名、愛知県 33 名

#### 【日程】

このプログラムは、JENESYS2025 ASEAN 同窓生のオンライン訪日プログラム（テーマ：地域課題と若者の社会参加）と一部合同で実施しました。

#### ■ オンライン訪日プログラム：

11月25日（火曜日）

#### 【オリエンテーション】

【挨拶】ASEAN 日本政府代表部 一等書記官 新岡 輝正 氏

#### 【講義】東放学園

講義：「日本アニメの現在と未来（2025）」

講師：東放学園映画アニメ CG 専門学校 教務教育部

アニメーション・CG 科 景利 康弘 氏

#### 【交流】東放学園 在校生との交流

#### 【意見交換】グループ別自己紹介・役割分担確認等

11月26日（水曜日）

#### 【講義・視察】シェア漫画スタジオ 漫画空間

講義：漫画ができるまで（概要、道具の使い方や描き方）

講師：シェア漫画スタジオ 漫画空間 内藤 泰弘 氏

#### 【体験・ワークショップ】

プロの漫画家 棚園 正一 氏によるキャラクター作画の実演

漫画キャラクターの作画体験

#### 【参加者間交流】

- 11月27日（木曜日） 【講義】日本語講座  
 講義：「正月文化と言葉」  
 講師：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）中部支所  
 日本語主任 森 由卯子 氏  
 講義：「オノマトペ」  
 講師：JICE 中部支所 日本語主任 亀井 文馨 氏  
 【参加者間交流】
- 11月28日（金曜日） 【文化体験】東京盆踊りの会  
 講義：「盆踊りの起源と歴史、盆踊りの紹介」  
 講師：東京盆踊りの会 盆踊り指導員 永田 天峰 氏  
 体験：「みんなで踊ろう！盆踊り」  
 【交流】日本在住の JENESYS 同窓生との意見交換  
 登壇者：  
 アウン・シー・チョウ 氏 JENESYS2022 参加者（ミャンマー 大学生）  
 ヌードサナート・チャイサヴァン氏 JENESYS2016 参加者（ラオス 大学院生）  
 【ワークショップ】報告会準備（再訪日成果のとりまとめの作成）
- 11月29日（土曜日） 【報告会】再訪日成果の発表

## 2. 記録写真

### オンライン訪日プログラム

	
<p>11月25日【講義】 「日本アニメの現在と未来（2025）」</p>	<p>11月26日【視察】 シェア漫画スタジオ 漫画空間</p>
	
<p>11月27日【講義】日本語講座「オノマトペ」</p>	<p>11月28日【文化体験】盆踊り「みんなで踊ろう」</p>

	
<p>11月28日【交流】同窓生との意見交換</p>	<p>11月28日【ワークショップ】報告会準備</p>
	
<p>11月29日【報告会】</p>	<p>11月29日【報告会】集合写真</p>

### 3. 参加者から寄せられた質問・関心事項（抜粋）

#### ◆ 【テーマ関連講義】「日本アニメの現在と未来（2025）」について

- ・ 今アニメ業界で大変なチャレンジは何ですか。
- ・ AIはアニメーション制作のプロセスにどのような影響を与えているのでしょうか。
- ・ クリエイターたちは何にインスパイアされて、あのようなユニークなプロットやキャラクターを思いつくのでしょうか。日本のアニメは、テーマ、感情、ストーリーテリングにおいて、西洋のアニメーションとは全く違うと感じます。どのような影響やアイデアが、あの独特なスタイルを形成したのでしょうか。
- ・ アニメのリメイクについて、イラストやスタイルが現代風にアップデートされる中で、どのようにして「懐かしさ（ノスタルジー）」を強調すればよいのでしょうか。例として、90年代のアニメや漫画のリメイクでは、慣れ親しんだオリジナルのスタイルからかけ離れてしまうことがあります。

#### ◆ 【テーマ関連視察】シェア漫画スタジオ 漫画空間

- ・ 近年の漫画制作ではデジタルで作成されることも多いと聞いていますが、従来のアナログ制作と比べて実際どちらの手法が多いのですか。
- ・ 1ページ当たりにかかる作成時間、また漫画一冊が出来上がるまでどれくらいかかりますか。
- ・ 漫画を描くには様々なペンの種類があることを学びました。ペンが漫画の線、細部、そして全体的な雰囲気を作る上でどれほど重要か、今まで気づきませんでした。一つ一つのコマにどれほどの技術と精密さが込められているのか、より深く理解することができました。

◆ 【テーマ関連講義】日本語講座について

- ・ 日本のおノマトペではひらがなとカタカナで表記する場合のルールはありますか。
- ・ おノマトペは、意味は同じでも東京と他の地域（北海道など）によって違う音で表現される場合がありますか。
- ・ 自分の国（フィリピン）では、日本のようにおノマトペは多くありませんが、学校のチャイムの音は日本のものと似ていました。

◆ 【文化体験】盆踊りについて

- ・ 最新のポップス曲で盆踊りをしていることに驚きました。
- ・ 盆踊りは何時間くらい踊り続けるのでしょうか。
- ・ 盆踊りを教えるときに一番大事にしていることは何ですか。

◆ 【交流】同窓生との意見交換

- ・ ホームシックになった時どうしましたか。
- ・ 授業で使われている言語は何ですか。
- ・ 日本には奨学金を受ける機会が多くあることがわかったので、日本へ留学し、その制度を活用できればと思いました。

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ フィリピン 社会人

特に印象的だったのは、語学学習と現代の日本のポップカルチャーを結びつけたセッションでした。ディスカッション、教材、事例を通して、トピックを魅力的に感じ、共感できるようになりました。また、言語と文化がどのように相互に形成するかについて理解を深めました。また、日本のメディア、コミュニケーションスタイル、文化表現を探求し続けたいという好奇心も刺激されました。

◆ シンガポール 社会人

このプログラムを通して、私は日本の文化、言語、伝統についてより一層学ぶことができました。また、様々な国からの参加者と一緒に学ぶことができ、レッスンや交流を楽しむことができました。そのおかげで、私は日本語を学び続け、学んだことを母国の人たちと共有したいと思うようになりました。

◆ フィリピン 社会人

最も印象的だったのは、漫画制作に注がれる並外れた忍耐力、情熱、そして献身的な姿勢を目の当たりにしたことです。子供の頃は漫画を読んだことがなく、パンデミック後に初めて知りましたが、その芸術性と物語の語り口にすぐに心を奪われました。漫画家が独自のアイデアを練り上げ、キャラクターをデザインし、緻密なストーリーボードと作画を通じて命を吹き込む過程を目の当たりにし、1ページごとに込められた努力を心から実感しました。特に漫画を愛する理由は、アニメ化作品よりも遥かに多くの細部やニュアンスが込められており、画面では見落としがちな微妙な表現を捉えている点にあります。本日のセッションは、漫画家の作品がいかに深く人々の感情に響くかを改めて思い起こさせると同時に、その技術がより大きな評価と称賛に値する理由を強く確信させてくれました。

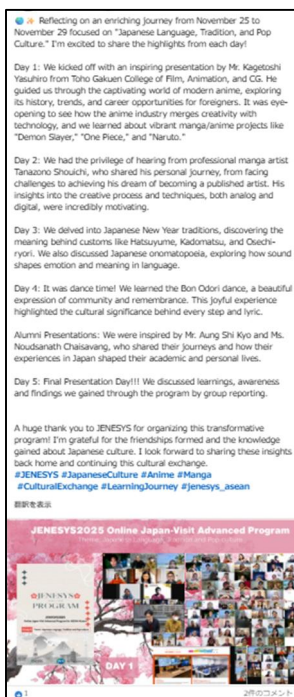
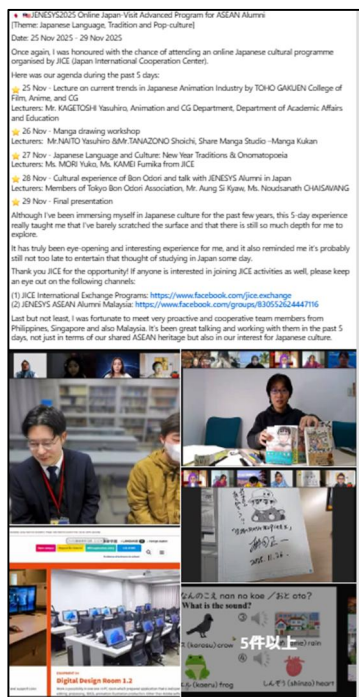
## 5. 受入れ側の感想（抜粋）

### ◆ 視察先関係者

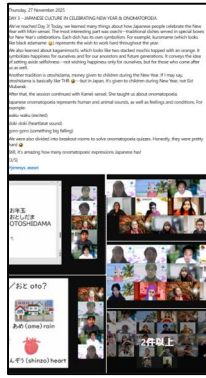
ASEAN 諸国の若者たちも、日本の漫画やアニメに大変関心が高いと感じました。

以前からインバウンドの外国人に漫画の体験講座は行っており、オンラインでも海外の人たちに向けて漫画の講座をやってみたいと考えていましたが、今後もさらにやってみたいと思うようになりました。

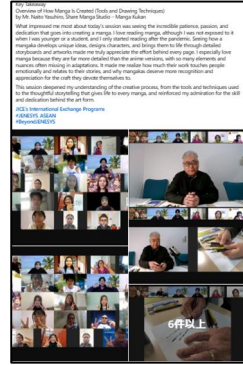
## 6. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 <p>Reflecting on an enriching journey from November 25 to November 29 focused on "Japanese Language, Tradition, and Pop Culture." I'm excited to share the highlights from each day!</p> <p>Day 1: We kicked off with an inspiring presentation by Mr. Kigetoshi Yasuhiro from Toho Gakuen College of Film, Animation, and CG. He guided us through the captivating world of modern anime, exploring its history, trends, and career opportunities for foreigners. It was eye-opening to see how the anime industry merges creativity with technology, and we learned about vibrant manga/anime projects like "Demon Slayer," "One Piece," and "Naruto."</p> <p>Day 2: We had the privilege of hearing from professional manga artist Tanizaki Shouchi, who shared his personal journey, from facing challenges to achieving his dream of becoming a published artist. His insights into the creative process and techniques, both analog and digital, were incredibly motivating.</p> <p>Day 3: We delved into Japanese New Year traditions, discovering the meaning behind customs like Hatsuyume, Kadamatsu, and Osechi-nyori. We also discussed Japanese onomatopoeia, exploring how sound shapes emotion and meaning in language.</p> <p>Day 4: It was dance time! We learned the Bon Odori dance, a beautiful expression of community and remembrance. This joyful experience highlighted the cultural significance behind every step and lyric.</p> <p>Alumni Presentations: We were inspired by Mr. Aung Shi Kyo and Ms. Noutsarath Chaisavang, who shared their journeys and how their experiences in Japan shaped their academic and personal lives.</p> <p>Day 5: Final Presentation Day!!! We discussed learnings, awareness and findings we gained through the program by group reporting.</p> <p>A huge thank you to JENESYS for organizing this transformative program! I'm grateful for the friendships formed and the knowledge gained about Japanese culture. I look forward to sharing these insights back home and continuing this cultural exchange.</p> <p>#JENESYS #JapaneseCulture #Anime #Manga #CulturalExchange #LearningJourney #jenesys_asean</p> <p>訪問先関係者</p>	 <p>JENESYS2025 Online Japan-Visit Advanced Program for ASEAN Alumni (Theme: Japanese Language, Tradition and Pop-culture) Date: 25 Nov 2025 - 29 Nov 2025</p> <p>Once again, I was honoured with the chance of attending an online Japanese cultural programme organised by JICE (Japan International Cooperation Center).</p> <p>Here was our agenda during the past 5 days:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>25 Nov - Lecture on current trends in Japanese Animation Industry by TOHO GAKUEN College of Film, Anime, and CG Lecturers: Mr. KIGETOSHI Yasuhiro, Animation and CG Department, Department of Academic Affairs and Education</li> <li>26 Nov - Manga drawing workshop Lecturers: Mr. NAITO Yasuhiro B.M., TANAZONO Shouchi, Share Manga Studio - Manga Kukan</li> <li>27 Nov - Japanese Language and Culture: New Year Traditions &amp; Onomatopoeia Lecturers: Mr. MORI Yuka, Ms. KAMEI Fumika from JICE</li> <li>28 Nov - Cultural experience of Bon Odori and talk with JENESYS Alumni in Japan Lecturers: Members of Tokyo Bon Odori Association, Mr. Aung Shi Kyo, Ms. Noutsarath CHAISAVANG</li> <li>29 Nov - Final presentation</li> </ul> <p>Although I've been immersing myself in Japanese culture for the past few years, this 5-day experience really taught me that I've barely scratched the surface and that there is still so much depth for me to explore.</p> <p>It has truly been eye-opening and interesting experience for me, and it also reminded me it's probably still not too late to entertain that thought of studying in Japan some day.</p> <p>Thank you JICE for the opportunity! If anyone is interested in joining JICE activities as well, please keep an eye out on the following channels:</p> <p>(1) JICE International Exchange Programs: <a href="https://www.facebook.com/jice.exchange">https://www.facebook.com/jice.exchange</a> (2) JENESYS ASEAN Alumni Malaysia: <a href="https://www.facebook.com/groups/8305262444716">https://www.facebook.com/groups/8305262444716</a></p> <p>Last but not least, I was fortunate to meet very proactive and cooperative team members from Philippines, Singapore and also Malaysia. It's been great talking and working with them in the past 5 days, not just in terms of our shared ASEAN heritage but also in our interest for Japanese culture.</p>
<p>2025年12月2日 (LinkedIn)</p> <p>フィリピン 社会人</p> <p>1日目：東放学園映画アニメーションCG専門学校の景利康弘氏による刺激的なプレゼンテーションで幕を開けました。現代アニメの魅力的な世界へと導き、その歴史やトレンド、外国人向けのキャリア機会を探求しました。アニメ産業が創造性と技術を融合させる様子は目から鱗で、「鬼滅の刃」「ワンピース」「NARUTO」といった活気あるマンガ／アニメプロジェクトについて学びました。</p> <p>2日目：プロの漫画家である棚園正一氏から、困難に立ち向かいながら漫画家としてデビューする夢を叶えたご自身の歩みについてお話を伺う貴重な機会を得ました。アナログとデジタルの両方にお</p>	<p>2025年11月30日 (Facebook)</p> <p>マレーシア 社会人</p> <p>JENESYS2025 オンライン訪日プログラム (ASEAN 同窓生対象)</p> <p>(テーマ：日本語、伝統、ポップカルチャー)</p> <p>開催日：2025年11月25日～2025年11月29日</p> <p>今回も、JICE が実施するオンラインプログラム (テーマ：日本文化) に参加する機会に恵まれました。</p> <p>過去5日間のスケジュールは以下のとおりでした。</p> <p>11月25日 - 東放学園映画アニメCG専門学校による、日本のアニメーション産業の現在の動向に関する講義</p> <p>講師：教務教育部 アニメーション・CG科 景利康</p>

<p>ける創作プロセスや技法に関するご見解は、非常に刺激的でした。</p> <p>3日目：日本の正月伝統に深く触れ、初夢・門松・おせち料理などの風習に込められた意味を探りました。また日本語の擬音語について議論し、音が言語における感情や意味をどう形作るかを考察しました。</p> <p>4日目：ダンスの時間。地域と追悼の美しい表現である盆踊りを学びました。この喜びに満ちた体験は、踊りの一步一步、歌詞の一語一語に込められた文化的意義を浮き彫りにしました。</p> <p>同窓生との意見交換：日本での経験が学問的・個人的成長に与えた影響を語る姿に感銘を受けました。</p> <p>5日目：最終発表会。グループ報告を通じて、プログラムで得た学び・気づき・発見について議論しました。</p> <p>この変革をもたらす JENESYS プログラムに心から感謝します。今回得た友情と日本文化について得た知識に感謝しています。これらの気づきを母国で共有し、この交流を続けていくことを楽しみにしています。</p>	<p>弘氏</p> <p>11月26日 - 漫画制作ワークショップ 講師：シェア漫画スタジオ「漫画空間」内藤泰弘氏、棚園正一氏</p> <p>11月27日 - 日本語・日本文化：新年の伝統と擬音語 講師：JICE の森由卯子氏、亀井文馨氏</p> <p>11月28日 - 盆踊りの文化体験と、日本にいる JENESYS の同窓生たちとの懇談 講師：東京盆踊り協会の方、アウン・シー・チョウ氏、ヌードサナート・チャイサヴァン氏</p> <p>11月29日 - 最終発表</p> <p>ここ数年、日本の文化に没頭してきたとはいえ、この5日間の体験を通じて、私はまだほんの表面をかじったに過ぎず、探求すべき世界がまだまだたくさん残されていることを痛感しました。そして、いつか日本へ留学したいという思いを抱くのにおそらくまだ遅くはないのだと改めて気づかせてくれました。</p> <p>JENESYS の活動に参加したい方は、以下のチャンネルをチェックしてください： (JENESYS ASEAN Alumni Malaysia Facebook ページ等を案内)</p> <p>最後に、フィリピン、シンガポール、そしてマレーシアから参加した非常に積極的で協力的なチームメンバーと出会えたことを幸運に思います。</p> <p>この5日間、私たちは ASEAN としての共通の文化的背景だけでなく、日本文化への関心という点でも話し合い、共に活動できました。</p>
--	--

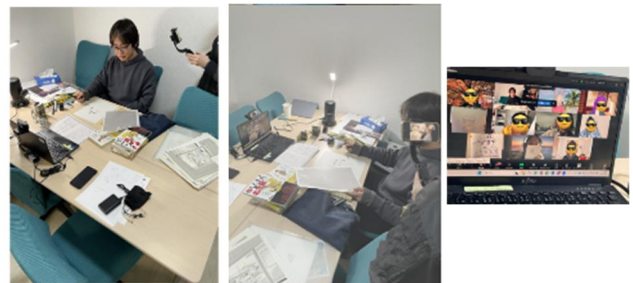
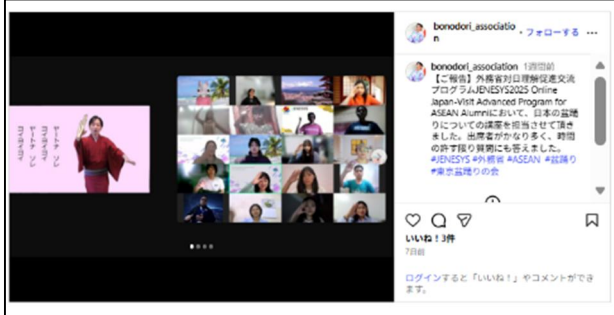


2025年11月28日 (Facebook)  
 インドネシア 社会人  
 3日目 - 新年の祝い方と擬音語にみる日本文化  
 今日は森先生と一緒に、日本人が新年をどのように祝うかについて多くのことを学びました。最も興味深かったのはおせち料理— (新年の祝いに特別な箱に盛られる伝統的な料理) です。各料理には象徴的な意味があります。例えば黒豆 (見た目は黒の枝豆) は、一年間一生懸命働くという願いを表しています。  
 また鏡餅についても学びました。これは二枚の餅を積み重ね、その上にみかんを乗せたものです。自分自身の幸せと、先祖や未来の世代の幸せを象徴しています。これは利己心を捨て、自分だけの幸せを願うのではなく、後世の人々の幸せも願うという考えを表しています。  
 もう一つは「お年玉」です。これはお正月に子どもに渡されるお金のことです。お年玉は基本的にTHR (Tunjangan Hari Raya : インドネシアのイスラム教の断食明け大祭 (イドゥル・フィトリ) に出る祝祭日手当) のようなものですが、日本ではイドゥル・フィトリではなく新年に子どもに渡されます。  
 その後、亀井先生による、オノマトペについてご講義がありました。  
 日本語のオノマトペは、人や動物の鳴き声だけでなく、感情や状態も表現します。例えば：  
 わくわく (興奮)  
 ドキドキ (心臓の鼓動)  
 ゴロゴロ (大きな物が落ちる音)



2025年11月26日 (Facebook 等)  
 フィリピン 社会人  
 漫画制作の概要 (ツールと作画技法)  
 内藤泰弘氏 (シェア漫画スタジオ・漫画空間)  
 本日のセッションで最も印象的だったのは、漫画制作に注がれる並外れた忍耐力、情熱、そして献身的な姿勢を目の当たりにしたことです。私は漫画を読むのが大好きですが、若い頃や学生時代には触れる機会がなく、パンデミック後に読み始めました。漫画家が独自のアイデアを練り、キャラクターをデザインし、詳細なコマ割りと作画を通じて命を吹き込む過程を目の当たりにし、1ページごとに込められた努力を心から実感しました。特に漫画を愛する理由は、アニメ版よりも遥かに詳細で、原作では省略されがちな要素やニュアンスが詰まっている点です。彼らの作品が人々の感情に深く触れ、物語に共感させる力、そして漫画家はその技芸に捧げる努力がより多くの評価と称賛に値する理由を改めて認識させられました。  
 このセッションを通じて、使用される道具や技法から、各漫画に命を吹き込む緻密なストーリーテリングに至るまで、創作プロセスへの理解が深まりました。そして、この芸術形式を支えている技術と情熱への敬意が一層強まりました。

また、オノマトペクイズを解くためにグループごとに分かれました。正直かなり難しかったです。日本語にはこれほど多くのオノマトペが存在するとは、驚くべきことです。



2025年12月7日（東京盆踊りの会のInstagram）外務省対日理解促進交流プログラム JENESYS2025 Online Japan-Visit Advanced Program for ASEAN Alumniにおいて、日本の盆踊りについての講座を担当させていただきました。

2025年11月28日（シェア漫画スタジオ「漫画空間」大須本店のブログ）

「ASEAN 諸国の方々にオンライン漫画講座を開催しました！」

（一部を抜粋）

先日、日本国際協力センター（JICE）のプログラムの一環で ASEAN 諸国の若者たちに漫画講座をやってほしいという依頼があり、漫画空間からオンラインで行いました。内容は、私（内藤氏）が漫画道具の説明や使い方、漫画ができるまでの流れを説明し、棚園先生が実際に描いて見せたり、作業中の作品やネームを見せながら漫画ができるまでを説明しました。

## 7. 報告会での再訪日成果の発表（抜粋）

訪問地 東京都、愛知県 全6グループ発表

### グループ A-2



#### 【成果の発表】

◆ テーマ：日本語・伝統とポップカルチャーに関する学び

日本のアニメ・漫画制作の情熱・技術力・制作工程の大変さを理解し、オノマトペ、正月文化、盆踊りを通して、日本文化の深さと魅力を実感しました。日本語講師との対話を通して、文化が言語や価値観に与える影響を学びました。東南アジアと日本の文化の共通点と違いを知り、日本の進学・就労への関

心が高まりました。

◆ 日本についての新たな発見、学び

同窓生の話から、日本での生活がより現実的で身近に感じることができ、盆踊り体験や漫画スケッチなど、身体的な参加を通して文化への理解と親近感が深まりました。

◆ テーマに関連して実施する考えられる連携活動

2026年には、グループメンバーで、SNS（Facebook、Instagram）を通し、アニメ・漫画紹介、盆踊り曲紹介、食べ物、ゲームなどの日本製品の紹介を行う共同プロジェクトを実施予定です。

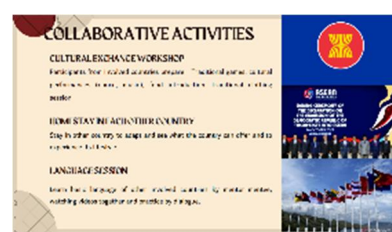
タイムライン（2025～2026）は以下の通りです。

2025年12月～2026年1月：資料の準備

2026年2月：東南アジアの教育機関へ招待状発送

2026年3月～4月：SNSを開設し、週1回の投稿を開始日本のポップカルチャーの中であまり知られていない部分を、特に日本についてもっと知りたい若い世代に紹介することを目標としています。

### グループ A-3



#### 【成果の発表】

◆ 学び

一日目（アニメ文化・東放学園）：日本のアニメ制作における技術と情熱を体感しました。

二日目（漫画体験・漫画空間）：プロの漫画家が使う多様な道具や、1ページごとに必要な集中力に感動しました。

三日目（日本語表現・オノマトペ）：日本語のオノマトペは動作や感情を細かく表現し、地域によって違いがあることを学びました。

四日目（盆踊り）：盆踊りは人生を祝う行事であり、日本の精神を形づくる喜びや悲しみ、感情が集まる場であることを学びました。また、同窓生の話はとても刺激的で、日本留学への意欲が高まりました。

#### 【連携活動】

文化交流ワークショップを行い、参加者は各国の伝統ゲーム、ダンス、音楽、料理、衣装などを紹介し合います。互いの国でホームステイを行い、その国の生活文化を体験し、交流を深めます。

### グループ A-5



#### 【学び】

日本語のオノマトペの豊かさと文化的意味を理解し、日本語の表現力の高さを実感しました。

また、日本の正月や盆踊りを通じて、家族・地域・伝統を大切にする文化的価値を体感しました。漫画制作の実態を知り、プロの集中力や情熱に感銘し、オンライン体験で漫画の基本的な描き方や、日本のアニメが感情を視覚的に表現する工夫を学習しました。同窓生の話から、日本留学への意欲も高まりました。

【同窓生としての今後の協働活動アイデア】

● オンライン活動

日本語・オノマトペ共有（面白い表現をグループで紹介し合います）

漫画の簡単スケッチ交換（学んだ技術を活かしたカジュアルな交流を行います）

文化視聴会（祭りやアニメの短い映像を見て、感想を共有します）

● 同窓生支援・文化発信

参加予定者への体験談や準備のアドバイスをオンラインで提供します。

季節ごとの日本文化紹介（正月・七夕・夏祭りなど）を SNS やオンラインで発信します。

● 今後の学習目標

日本語と日本文化の学びをさらに深めます。

オノマトペを中心に、日本語の日常会話での使い方を紹介します。

漫画制作スキルを伸ばし、学んだ技法を他者と共有します。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）